



海老沼小だより

～ かしこく やさしく たくましく生き抜く子
笑顔と歌声あふれる学校 ～

1 学期最終号

平成30年7月20日

さいたま市立海老沼小学校

海老沼のたくさんの「ありがとう」にありがとう

校長 森 裕子

連日の猛暑で、命を落とす小学1年生まで出て、子ども達の健康はもちろん、地域、保護者の皆様もさぞや大変な思いをされていることと案じております。また、西日本の豪雨による被害は甚大なものとなり、亡くなられた200人を超える方々に心よりお悔やみ申し上げます。家屋や財産を失い、猛暑の中、過酷な避難生活を強いられている方々に心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復興を願ってやみません。さて、本日をもちまして、1学期71日が終了となります。保護者、地域の皆様のお力添えのお陰をもちまして、大過なく過ごせたことを心より御礼申し上げます。ありがとうございました。明日から38日間の夏休みとなりますが、子ども達には楽しく有意義な夏休みを過ごしてほしいと願うとともに、8月28日の始業式には、必ず全員が元気に登校してきてほしいという思いでいっぱいです。交通事故や自然災害、犯罪等、心配なことが多々あります。本日、学校からも子ども達に気をつけるように話をしましたが、ご家庭、地域の皆様におかれましても子ども達が安全・安心に楽しい夏休みが送れるようにお見守りいただきたくお願い申し上げます。

7月の講話朝会で、先月の「いじめ撲滅強化月間」のまとめとして、市の人権作文集から1年生が書いた作文を紹介しました。内容は、言われていやだった言葉を自分も言い返したら、余計気持ちが悪くなったので、思い切って「ごめんね」と謝ったら相手も「ごめんね」と言ってくれて、心があたたかくなったというもので、自分はこれから「心があたたかくなる言葉」を遣うようにしたい、という決意が最後に書かれていました。そこで私は、「皆さんが言われて『心があ



たたかくなる言葉』は何ですか。紙と鉛筆を校長室前に置いておくので、思いついたら書いていってください」と話しました。すると、200枚位集まったでしょうか。模造紙2枚に描いた大きなハートに貼っていきました。(写真参照)特に1年生が、同じ1年生の作文だったせいか、朝会の話も熱心に聞いてたくさん書いてくれました。一番多かったのは「ありがとう」でした。その次が「だいじょうぶだよ」や「いっしょに遊ぼう」「がんばって」でした。その他「じょうずだね」「だいすき」「ともだちだよ」「気にしなくていいよ」「やさしいね」「助かったよ」「いいね」「かわいいね」など、子ども達のやさしい笑顔が目につかび、こちらの心もあたたかくなりました。「ありがとう」が多いことから、海老沼の子ども達が感謝する心を持ち、感謝される喜びを感じるゆたかな心をもっていることがわかり、本当にうれしく思います。

最近、心に響いた「ありがとう」が2つあります。1つは、具合が悪くなった男子児童が保健室の先生が不在だったため、お迎えを待つ間、校長室で休んでいったのですが、次の日廊下で会ったとき「校長先生、昨日はありがとうございました。」と言ってくれたことです。その場での「ありがとう」は言えるけれど、次に会ったときにもう一度言うことは、大人でもなかなかできないことがあります。「2度目のありがとう」は感謝の気持ちが再び伝わり、言われた方もさらにうれしくなります。もう一つは、1学期いっばいでアメリカの学校に転校していくなかよし学級のゆうや君とお母様に「今まで本当にありがとうございました。海老沼小の皆さんにいつもよくして頂いて心より感謝しています。」と言われたことです。去年の4月に入学したゆうや君、いつも友達思いでがんばりやさんでした。一緒に入学したのは4名で、どんどん学校に慣れ、その名のおり総勢12名でいつもなかよく楽しく学校生活を送ってきました。なかよし学級ができて5年、まだ卒業生も出ていないので初めてのお別れとなります。先日は、なかよし学級のお別れ会を開き、みんなで楽しく過ごした後、何度も「ありがとう」を交わしました。この「ありがとう」は、うれしくてつらい「ありがとう」でした。

海老沼の子ども達とともに、毎日楽しく、元気にがんばれたことに心より感謝します。

いつも感動をくれる子ども達にも「ありがとう」 2学期また元気に会いましょう。